

ヒョウモンモドキ

Melitaea scotosia

兵庫県：絶滅

環境省：絶滅危惧 I A類(CR)

種の概要

前翅長22～34mm程度。翅の地色は橙黄色で、前後翅ともに黒斑を散布する。後翅裏面は黄白色で、橙黄色から白色の斑紋を散布する。山地の湿性草地に生息し、幼虫はタムラソウ、キセルアザミなどを食べる。年1化性で、成虫は6月～8月に見られる。アザミ類、オカトラノオなどで吸蜜する。



写真提供：刈田悟史

国内分布

本州

県内分布記録

神河町、宍粟市、養父市、朝来市、丹波市

選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
○	○	○	○	○	○

特記事項

最後の生息地（宍粟市波賀町）では1960年代までは良好な生息環境が残されていたが、1976年を最後に絶滅。明るい二次林に点在していた湿地・草原が、植林木の成長で暗くなったこと、分断による孤立化、湿地の乾燥化などにより生息環境が消滅した。

保護上の留意点